

■効果の見える治水事業

徳島県 出島川 地震・高潮対策河川事業

徳島県南部総合県民局県土整備部
部長 東村 正行



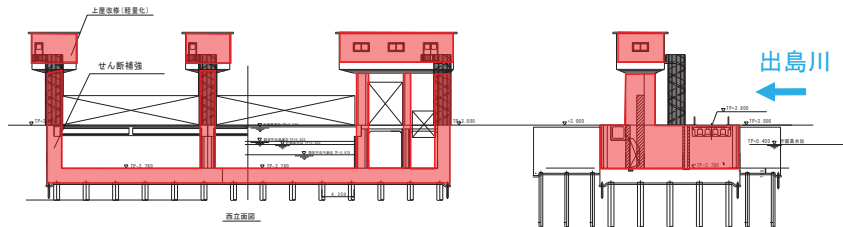
出島川は、阿南市那賀川町の中心部を流れ、那賀川に合流する河川延長 3.2km の一級河川です。

出島川の河口部においては、昭和 36 年の第二室戸台風級の高潮を計画対象とし、これまでに、出島川水門及び排水機場を整備し、高潮被害の軽減に効果を発揮してきました。

しかし、今後発生が切迫する南海トラフ巨大地震においては、出島川河口部で将来にわたって考えられる最大級の強さである震度 7 の地震が想定されており、発生した場合には、出島川水門が損傷し、操作に支障を来し、甚大な被害を誘発することが懸念されます。

このことから、地震発生後、水門の開閉や水密性等の機能を保持するため、平成 23 年度に地震・高潮対策河川事業に着手し、水門の耐震補強工事を進め、平成 27 年 3 月に完成しました。

この耐震補強工事の完成により、地域の皆様の安全で安心な暮らしの確保はもとより、迅速な復旧復興や経済社会の重要な機能の維持を図る国土強靱化に大いに寄与するものと考えております。



出島川水門 耐震補強一般図

事業概要

事業名：地震・高潮対策河川事業
事業箇所：出島川水門
事業期間：平成 23 年度～平成 26 年度
事業費：約 1 億円
工事概要：水門耐震補強 1 式
水門操作室軽量化 1 式



出島川水門 耐震補強工事完成

■出島川 地震・高潮対策河川事業に期待すること

阿南市長
岩浅 嘉仁



阿南市は、徳島県の南東部に位置する四国最東端の都市で、現在の市域面積は約 280km²、人口は約 7 万 6 千人となっており、水辺豊かな那賀川、遍路札所の太龍寺や平等寺、阿波水軍などの伝統、伊島のササユリや蒲生田岬のアカウミガメなど、都会では失われてしまった豊かな自然や歴史文化が今に息づいています。

太平洋の黒潮と瀬戸内海の海流、那賀川の淡水が交じり合う沖合では、身の締まった良質のハモやアワビが採れ、また、平野部は早場米、中山間部ではスタチやタケノコの産地として有名です。

また、市内には LED トップメーカー本社があり、高品質の高輝度 LED を世界に供給していることから、「光のまち阿南」として LED をテーマにしたまちづくりを展開しております。

本市は、年間を通じて比較的温暖な気候に恵まれ、四季折々の山海の幸に恵まれた豊かな自然と程よく調和した産業都市として発展してまいりました。

一方で、本市沿岸部においては、南海地震やチリ地震の津波をはじめ、第二室戸台風の高潮など、度重なる甚大な被害を受けてきており、今後 30 年以内に 70% の確率で発生すると言われてる南海トラフ巨大地震への対策は、喫緊の課題であります。

特に出島川流域においては、発災時に防災活動の拠点となる那賀川支所をはじめ、防災拠点を相互に連絡する一般国道 55 号、避難時には、寝泊まりもできる那賀川中学校や科学センターなど、重要な機能を持つ施設が数多くあり、出島川水門の耐震補強工事の完成によって、地震・津波時における地域住民が避難する時間の確保等に大きな役割を果たすものと期待しております。

最後に、今後も住民の防災意識の高揚を図り、住民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指し、尽力してまいりますので、関係機関の皆様方におかれましては、引き続き、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。



科学センター